

東北森林管理局

山形森林管理署 もがみ支署通信

”ニッセイ鮭川の森”育樹イベントを支援しました



元木鮭川村長あいさつ



作業開始前、やる気満々です



炎天下も何のその、刈り払い



作業を終えて班ごとに下山

公益財団法人ニッセイ緑の財団が主催する”ニッセイ鮭川の森”育樹ボランティア活動が8月3日(土)に鮭川村内の国有林で開催されました。これは日本生命保険相互会社の職員で構成する”ニッセイの森”友の会と、同財団が共催で、全国各地にあるニッセイの森において森林づくりのボランティア活動を行うものです。

当支署では6名が参加し、有限会社庄司林業等と共に作業指導・安全指導にあたりました。

当日は好天に恵まれ、開会式・記念撮影の後、総勢82名で育樹活動に取りかかりました。

山の手入れはなじみが薄いと語り合う参加者も散見されましたが、暑さの中、林内の歩行や刃物の取り扱いには細心の注意を払って作業に当たり、お昼前には無事に終了しました。

短時間ながら大勢で森林の整備を実施した結果、刈り払われてすっきりした林内を見て顔もほころびます。皆さんの満足げな表情が、とても印象的でした。

採材等現地検討会を開催しました

8月6日(火)、真室川町内の国有林の生産請負現地にて、山形県最上総合支庁との共催により、請負者の安楽城林産株式会社のご協力を得て、採材等現地検討会を開催しました。参集者は市町村の林務担当者をはじめ、製材工場・素材生産事業体、それに局署の担当者で、総勢49名です。

支署長あいさつ、現地の概要等の説明の後、全幹材の採材を行います。曲がりや節などの欠点に注意して、できるだけ長尺材(4m材)になるようチョークで印を付します。

チョークの印に従ってチェーンソーで造材している間、最上総合支庁森林整備課の担当者による、最上地方の森林・林業の概要について、詳細な情報の提供がありました。

局資源活用課の担当者の講評とともに、造材された材をみて、採材時は低質材や合板材と判断したが、より高価な一般材として通用するのではないかと、意見を交換する場面もありました。

県内でも有数の生産量を誇る最上地方の木材を適切に活用するために、採材を適切に行うことにより木材資源の有効利用や有利販売に繋がることを、身をもって改めて認識した現地検討会でした。



スギの採材、節多くて大丈夫？



ホオノキの採材に掛かります



最上総合支庁の情報提供



局担当者の講評を聴く

山形森林管理署 最上支署

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字木ノ下字下荒川200-11



国民の森林・国有林